



# オリンパス株式会社

A professional setting where a woman in a blue patterned dress is writing on a whiteboard with a marker. A man in a striped shirt stands behind her, observing. The background shows office equipment and papers.

01

会社概要

02

オリンパスの事業

03

今後の成長に向けて

04

今期の見通しと株主還元

# 01

---

## 会社概要



# 会社概要

## 商号

オリンパス株式会社 (Olympus Corporation)

## 上場市場

東京証券取引所プライム市場 (証券コード：7733)

## 設立

1919年10月12日

## 本社

〒192-8507 東京都八王子市石川町2951

## 資本金

1,246億円 (2025年3月現在)

## 連結売上高

9,973億円 (2025年3月期)

## 連結従業員数

29,297人 (2025年3月現在)

## グループ会社数

84社 (本社除く / 2025年3月現在)



# 患者さんへの貢献

## 49,000,000

大腸内視鏡件数／年\*

\*グローバル：米国、ドイツ、フランス、英国、イタリア、スペイン、日本、カナダ、ポーランド、韓国、オーストラリア、インド、ロシア(2022年時点)、中国（2019年時点、2019年から2022年までの予測の年間の平均値を含む）

## TOP 100

Global Innovator

オリンパスは、2012年から2020年にかけて、および2022年、2023年に、世界で最も革新的な企業トップ100に選ばれています

<https://clarivate.com/top-100-innovators/>

## 100

適応可能な疾患数

オリンパスは100\*の疾患の治療に役立つ様々な医療機器を提供しています

出典：自社調査 2025年3月現在

## 297

Awards

オリンパスは、1966年以来、革新的なデザインに対して国内外から表彰されています\*

\*2025年3月現在

## TOP 3

罹患数の多い3つのがんに

オリンパスは、罹患数の多い5つ\*のがんのうち、肺がん、胃がん、大腸がんへの治療機器を提供するとともに、その他のがんの治療機器の開発も行っています。

\*乳がんと前立腺がんを除く、罹患数の上位 3 つ  
Source: GLOBOCAN 2022

## 15,000

特許の保有件数\*

オリンパスグループ全体（グローバル）

\*2025年3月現在

# 経営理念

## OUR PURPOSE 私たちの存在意義

**Making people's lives healthier, safer and more fulfilling**  
**世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現**

## OUR CORE VALUES



1950年に世界で初めて、胃カメラの実用化に成功してから、私たちオリンパスは医療従事者の方々と共に、内視鏡医療の発展に貢献してきました。

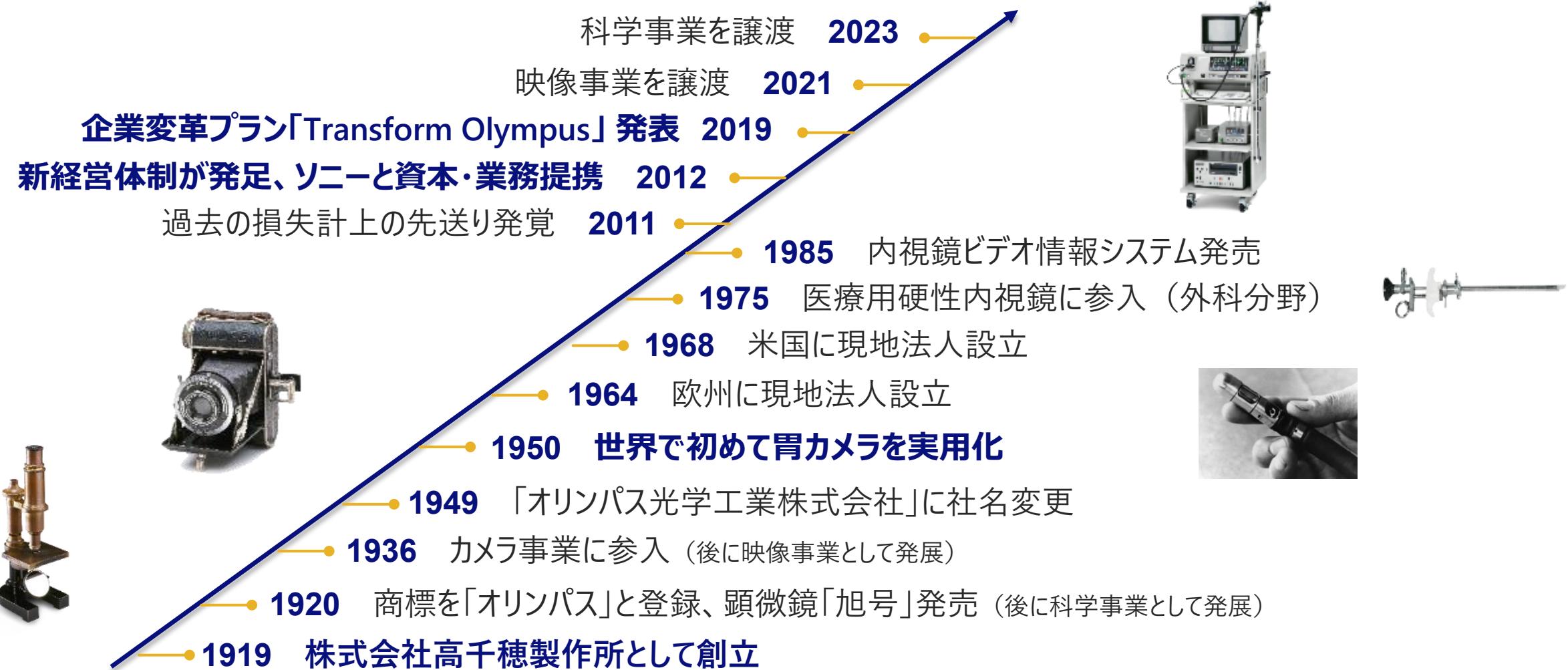
私たちは、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために、これからも医療水準の向上、そして患者さんのアウトカムの改善に貢献してまいります。

「Patient Focus（患者さん第一）」、「Integrity（誠実）」、「Innovation（イノベーション）」、「Impact（実行実現）」、そして「Empathy（共感）」

新たに再定義された5つのコアバリューは、私たちが患者さんの安全や品質を最優先するグローバル・メドテックカンパニーとして成長していくための指針です。

# オリンパスの歴史

1919年に日本初の顕微鏡を開発することを目指して創立、現在は消化器内視鏡を中心としたメドテックカンパニーへと深化



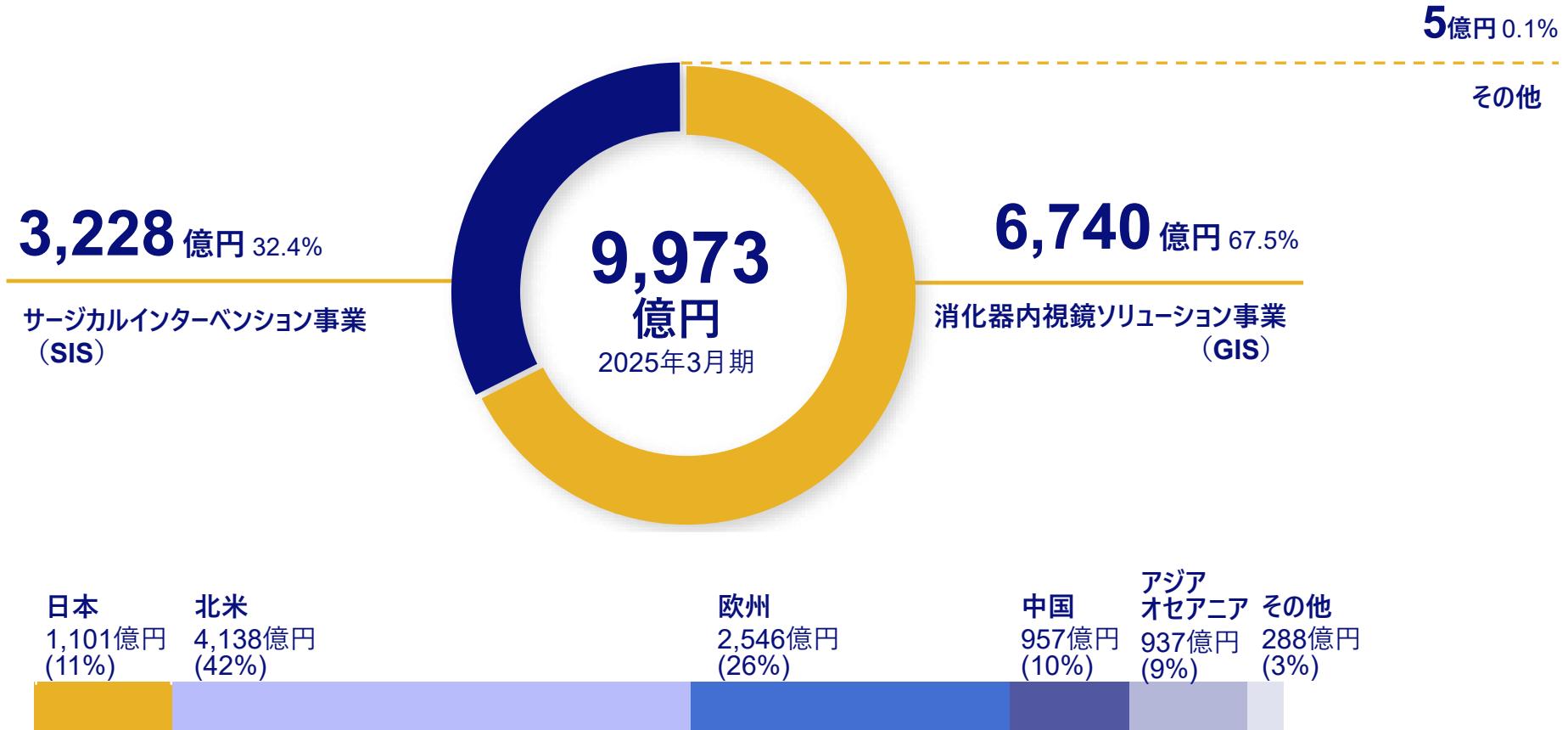
# オリンパスの売上高推移

医療事業に集中し、医療事業単独で1兆円規模に成長



# 事業別・地域別売上高

海外売上比率 約90%、国内生産の消化器内視鏡が世界中の医療現場に貢献



注：2025年4月より、事業部門である 内視鏡事業と治療機器事業を、消化器内視鏡ソリューション事業（GIS事業）とサージカルインターベンション事業（SIS事業）の新しい部門に再編しています。

四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります。

# 02

---

## オリンパスの事業



# オリンパスの医療機器が提供する2つの価値

## 医療分野を取り巻く環境

- ・高齢化の進展
- ・医療コスト削減の圧力
- ・患者さんのQOL（Quality of Life / 生活の質）の向上



**早期診断**  
(Early Diagnosis)

**低侵襲治療**  
(Minimally Invasive Therapy)

# オリンパスの医療機器が提供する2つの価値

早期診断

低侵襲治療

拾い上げ

診断

生検・採取

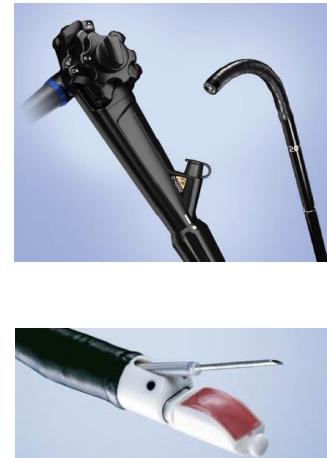
内視鏡治療

内視鏡外科手術

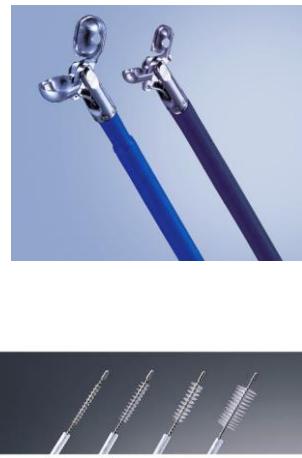
外科手術



消化器内視鏡  
システム



拡大内視鏡  
超音波内視鏡



生検鉗子／  
細胞診ブラシ



内視鏡処置具



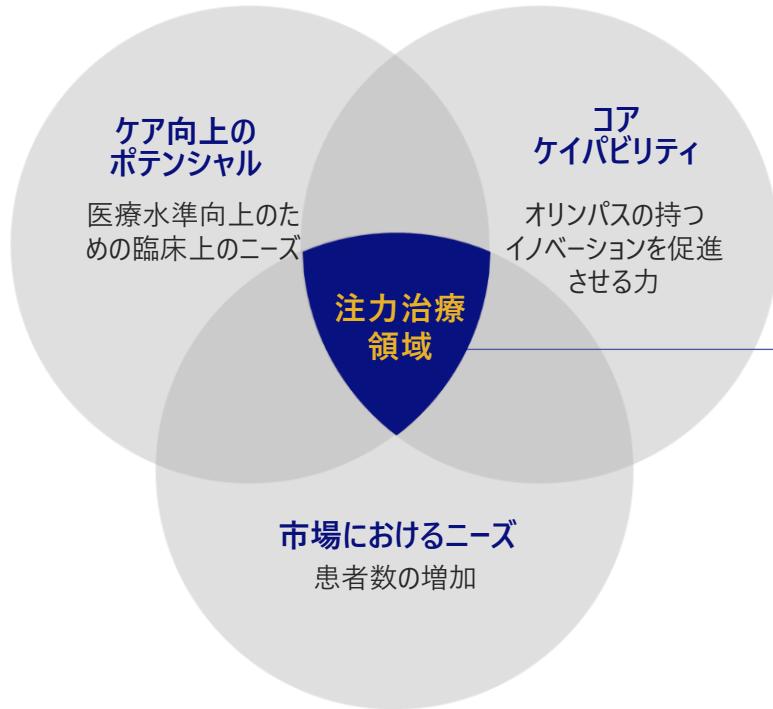
外科手術用  
内視鏡システム



手術用エネルギー  
デバイス

早期診断から低侵襲治療まで、より安全でより効率的な診断・治療につながる製品を通じて、  
「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」に貢献する

# オリンパスは3つの治療領域に注力することで成長を目指す



医療水準の向上に貢献するために、当社のコアケイパビリティによって差別化されたソリューションを提供し、ニーズが高まっている3つの治療領域に注力しています。

# 注力領域における当社のポジション



## 消化器科

### 市場規模

消化器内視鏡	消化器処置具
<b>3,000億～4,000億円</b>	<b>3,500億～4,500億円</b>
年平均成長率 4-6%	年平均成長率 5-7%



**GIS事業**  
売上高の約55%



## 泌尿器科

### 市場規模

上部尿路	下部尿路
<b>2,600億～3,200億円</b>	<b>2,000億～2,400億円</b>
年平均成長率 5-7%	年平均成長率 6-8%



**SIS事業**  
売上高の約40%



## 呼吸器科

### 市場規模

**1,200億～1,800億円**  
年平均成長率  
7-8%



**SIS事業**  
売上高の約20%\*

イノベーションへの取り組みにより、消化器科、泌尿器科、呼吸器科の領域でのリーディングポジションを維持

注：本スライドに掲載されている対象市場規模と成長率予測は当社調べによるもので、米国、欧州主要5カ国（ドイツ、英国、イタリア、フランス、スペイン）、日本、中国に関するものです。市場規模は2023年3月31日時点のものです。呼吸器科は、Veran Medical買収後のデータです。成長率予測は、2023年3月期度を起点とした、2024年3月期から2026年3月期までの予想です。以降のスライドの市場データについても同様です。ESD/TSD内のサブセグメントの売上比率は2023年3月期の数値です。

# オリンパスの強み

## ① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

- ・ 半世紀以上に渡る医師との協働開発体制
- ・ 最先端のテクノロジーを活かした製品開発

## ② 強固な事業基盤

- ・ グローバルに広がるサービスネットワーク
- ・ 内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター
- ・ 医師のニーズを具現化する独自のものづくり力

# ①長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

1950年

胃カメラ開発



杉浦睦夫

1964年

ファイバースコープ



臨床試験に臨む宇治医師

1985年

ビデオ内視鏡システム



2002年

ハイビジョン内視鏡システム



2020年

消化器内視鏡システム  
EVIS X1



## 医師のニーズにあった製品開発力、最先端の技術力

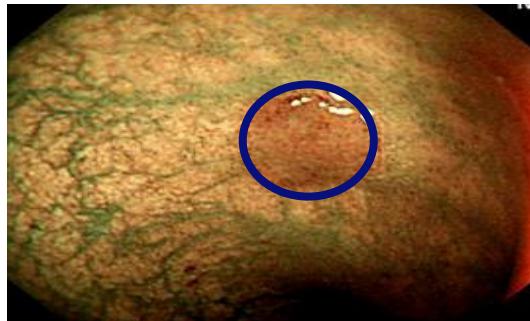
1950 年に世界初の実用的な胃カメラを開発してから現在に至るまで、医師との二人三脚で内視鏡技術の改良に取り組む

# ①長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

## 最先端のテクノロジーを活かした製品開発（消化器内視鏡領域）



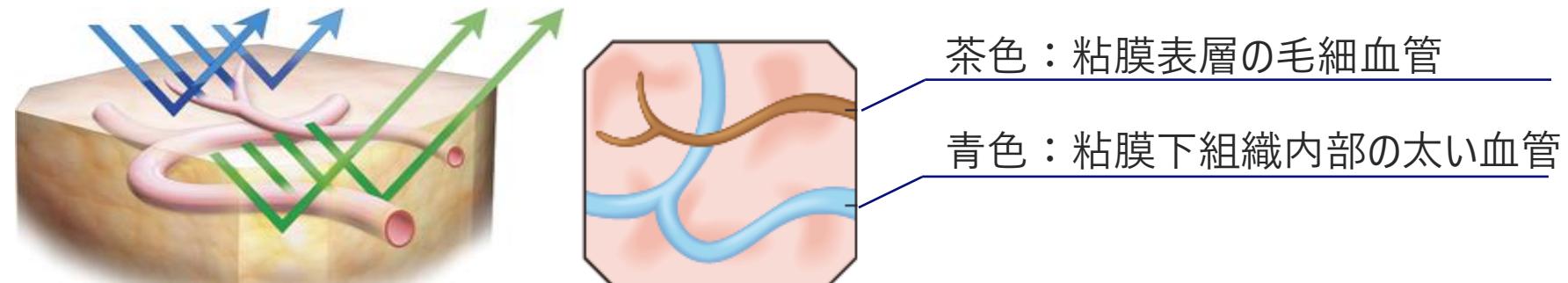
通常照明光画像



NBI 画像

### NBI (Narrow Band Imaging) による毛細血管画像の強調表示

- がんなどの微細病変の早期発見に寄与
- 狹帯域光を用いることでコントラストが強調される
- 粘膜表層の微細構造や毛細血管をより見やすくする



写真提供：国立がんセンター東病院（薰風会 佐野病院） 佐野先生

## ②強固な事業基盤

世界の医療機器メーカーの中で業界トップクラスのサービスネットワークを構築

### Global Service Network for Medical Business



※2022年4月時点の拠点

世界最大の内視鏡修理センター（米国）



韓国トレーニングセンター



## ②強固な事業基盤

### 多品種少量生産を実現するものづくり力

- 既製品に存在しない設備、加工部品などを内製化
- 数ミクロンレベルの超精密部品を具現化する微細加工技術
- さまざまな技術とノウハウを細かく組み合わせて調整する日本特有の「すり合わせ技術」
- 開発からアフターケアまで一貫した製造体制を構築  
(医療現場のフィードバックを適宜生産に反映)



●青森オリソス  
処置具「バスケット鉗子」



内視鏡スコープ

●会津オリソス

●白河オリソス



医療分野主力製造拠点 東北3工場

# 03

---

今後の成長に向けて



# 内視鏡の力で、より多くの患者さんに貢献

## 内視鏡医療エコシステムの拡充



# インテリジェント内視鏡医療エコシステムの導入

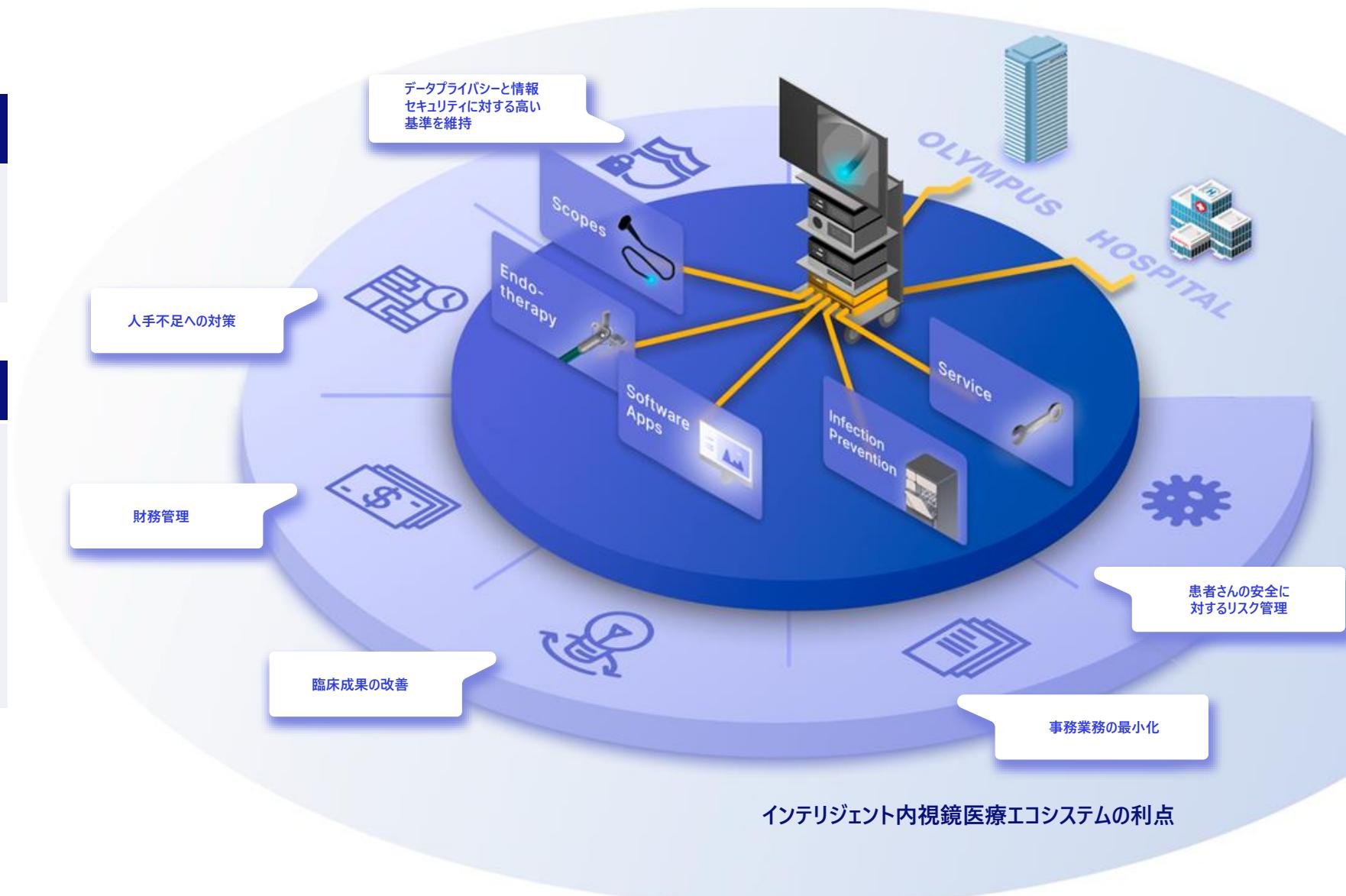
**エコシステムにおけるビジョン**

データとAIの活用により、臨床成果（アウトカム）と効率性を向上する

**100人以上の医療従事者へのロードショー<sup>1</sup>**

**主なフィードバック**

- ビジョンおよび全体的な方向性への支持を得た
- どのようなバリュードライバー（価値を高める要素）を優先すべきか**貴重な知見**を得ることができた



<sup>1</sup> 2月から4月にかけて、スペインとドイツで、関心のある見込み顧客や共同開発者を対象に実施。今後もロードショーを継続します

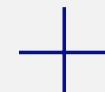
# エンドルミナルロボティクスの発展に向けたSwan EndoSurgicalの共同設立

成長するエンドルミナル  
ロボティクス手術の市場

20億 米ドル  
超

米国におけるエンドルミナル  
ロボット手術の2040年まで  
の市場規模\*

**OLYMPUS**



**REVIVAL**  
HEALTHCARE CAPITAL



**SWAN ENDOSURGICAL  
ROBOTICS**

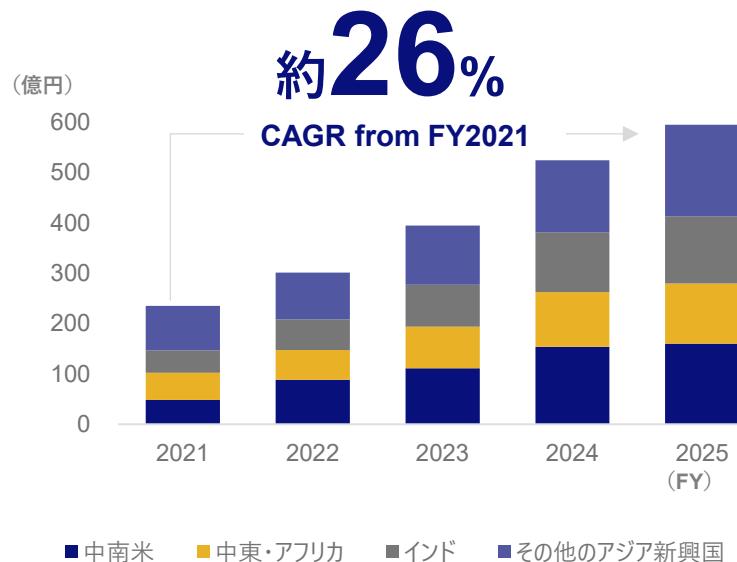
\*対象市場における当社予測 （注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

## 私たちの今後のビジョン

- **イノベーションと市場参入の加速**  
消化器科分野を初期の重点分野とし、先進的なエンドルミナルロボティクスプラットフォームの開発と商業化を迅速に進めるため、社内外のイノベーションを活用。Swan社の開発スピードと、先進的な医療従事者との共創におけるオリンパスの強みを融合
- **患者さんのアウトカムにおける変革**  
優れた操作性、精密な関節動作、医師の作業効率の最適化を通じて、処置の安全性を高め、患者さんのアウトカム向上を実現
- **幅広い応用が可能な拡張性の高いプラットフォーム**  
共通のプラットフォーム上に構築されたモジュール型の管腔内サブシステムにより、複数の疾患領域や用途への展開が可能

# 新興国市場における成長機会

医療分野における新興国市場の売上成長推移



6%

世界全体の売上高に占める  
新興国市場の割合



経済成長の著しい新興国において、臨床医の教育プログラムや  
トレーニングへの投資を継続

ケニアでのトレーニング例

- 消化器疾患診療の人材育成支援（内視鏡領域）事業を開始<sup>1</sup>**

内視鏡医が不足するケニアでの内視鏡医療普及を目指した活動



インドでのトレーニング例

- 消化器内視鏡の出張検査プログラムを確立**  
病院は出張内視鏡検査ができる車（内視鏡検査装置を載せた車）を設置



- 外科医に消化器内視鏡トレーニングを提供**  
インドの外科学会と共同で消化器内視鏡トレーニング活動を実施

中南米でのトレーニング例

- 医療従事者への研修・教育、専門医との連携を強化**

<sup>1</sup> 本事業は、厚生労働省より委託され、国立研究開発法人国立国際医療研究センターが主体となって実施する「令和5年度医療技術等国際展開推進事業」にオリンパスが応募し、採択されたものです

# 04

---

## 今期の見通しと株主還元



# 2026年3月期 通期業績見通し 連結業績（前期比）

- 1** 売上高：9,980億円と前期並みの水準を見込む。為替影響調整後では前期比3%成長と堅調に推移する見通し
- 2** 調整後営業利益：1,570億円、調整後営業利益率は15.7%となる見通し。将来の成長に向けた長期的な戦略投資の一方、コスト構造の改革に着手
- 3** 親会社の所有者に帰属する当期利益：940億円、EPSは85円となる見通し
- 4** 株主還元：年間配当は10円増の30円を予定し、500億円の自己株式の取得を実行中

(単位：億円)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 最新見通し	増減	前期比	為替影響 調整後
売上高	9,973	<b>1</b> 9,980	+7	0%	+3%
売上総利益 (売上総利益率)	6,837 (68.6%)	6,595 (66.1%)	▲242	▲4%	0%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,957 (49.7%)	4,985 (49.9%)	+28	+1%	+2%
その他の収益および費用など	▲256	▲250	-	-	-
営業利益 (営業利益率)	1,625 (16.3%)	1,360 (13.6%)	▲265	▲16%	▲8%
<b>調整後営業利益 (調整後営業利益率)</b>	<b>1,885 (18.9%)</b>	<b>2</b> 1,570 (15.7%)	▲315	▲17%	▲9%
税引前利益 (税引前利益率)	1,591 (16.0%)	1,310 (13.1%)			
当期利益	1,179	940			
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,179	<b>3</b> 940			
EPS	103円	85円			
<b>2026年3月期配当</b> <b>4</b> 年間配当30円を予定					

# キャピタルアロケーション

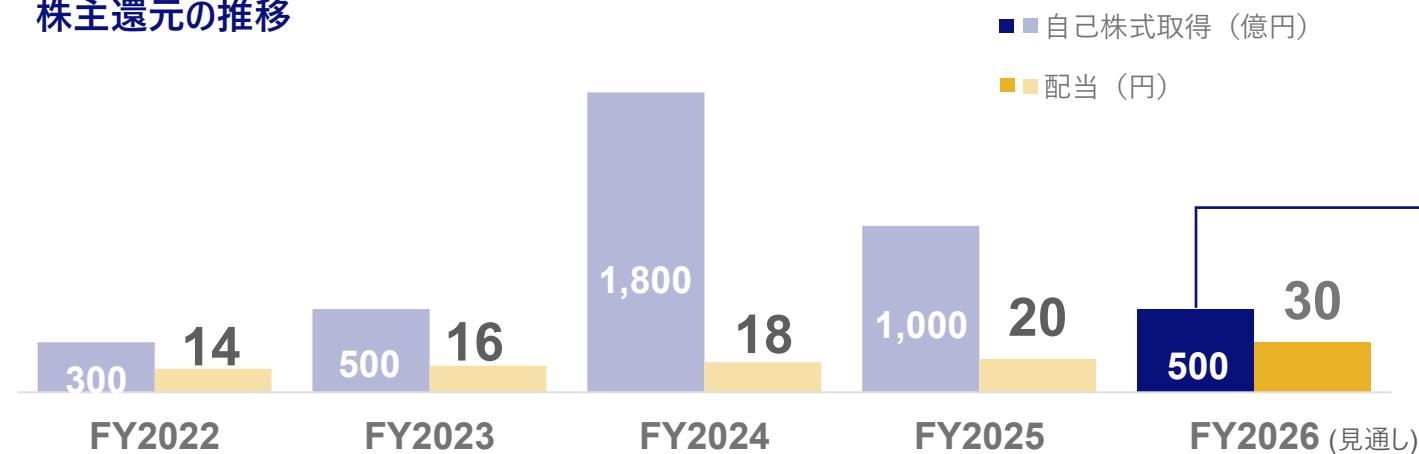
- 成長ドライバーへの優先的な投資
- 安定的かつ段階的な増配
- 機動的な自己株式の取得



# 株主還元

- 過去数年間の企業変革により、医療機器専業企業となり、キャッシュ創出力が向上。配当水準を大幅に引き上げ、年間配当は10円増の30円を予定
- キャピタルアロケーションの方針に基づき、運転資金および投資のための十分な手元流動性を確保した上で、500億円の自己株式の取得を決定

株主還元の推移



**NEW 500 億円**

取得しうる株式の総数  
36,000,000株（上限）  
：発行済株式総数（自己株式を除く）  
に対する割合 3.19%

取得期間  
2025年7月28日～2025年10月31日

	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
配当性向	16%	14%	9%	19%	36%
総還元性向	41%	49%	83%	104%	88%

<sup>1</sup> 発行済株式総数に対する割合は、取締役会決議時の数値になります

**OLYMPUS**



# 免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 參考資料



“

## 安定的な価値創造と競争力のある成長を実現

”



売上高成長率\*

約 5%  
CAGR from FY2023



EPS成長率\*\*

約 8%  
CAGR from FY2023



営業利益率\*\*

約 20%

\* 為替前提を固定

\*\* 特殊要因調整後

- その他の収益および費用等を除く

- 為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

# 品質変革の迅速な完遂に向けて

私たちの最優先事項は、患者さんケアのために安全で効果的なソリューションをお客様に提供することです。

## 現在

### Elevate

FDAの懸念事項に対して、引き続き迅速に取り組んでおり、**2026年3月期末までにElevateの取り組み完了を目指す。**  
今までにFDAに対するコミットメントの96%を完了

輸入警告および警告書の解除には、**FDAによる再査察への対応を問題なく終えることが必要**

2026年3月期通期見通しにおけるElevate関連費用に変更はない見込み

## 今後

### ■ 2026年3月期

FDAに対するコミットメントを果たす見込み時期は**変更無し**  
Elevateの取り組みを完了し、品質システムのさらなる成熟と確実な実行に注力

### ■ 2027年3月期以降

患者さんの安全とイノベーションを支える、**持続的な品質マネジメント体制の強化**に向けた改善活動にかかる費用を販管費として計上予定  
(Elevate関連費用は減少する見込み)

# 【参考資料】 ホームページ等お役立ち情報

## ● 投資家情報ページ

<https://www.olympus.co.jp/ir/>

- 直近の決算情報や統合レポートなど、投資家の皆さま向けの情報をご紹介しています



QRコード

## ● 個人投資家の皆さまへ

<https://www.olympus.co.jp/ir/individual/>

- 個人投資家の皆さま向けに当社事業内容や強み、歴史等について分かりやすくご紹介しています



QRコード

## ● オリンパスニュースメール登録

<https://www.olympus.co.jp/ir/mail.html>

- 当社ニュースリリースや適時開示情報を配信しています。ご希望の方は是非ご登録ください



QRコード

## ● オリンパス株式会社 公式X（旧ツイッター）

- オリンパス株式会社の公式アカウントです。販売・マーケティング、製造部門などグループ各社からの最新情報などもお届けします



QRコード